

2023年度事業計画書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本介護支援協会

I 事業実施の方針

日本介護支援協会は、2022年度、「社会福祉法人の強化を目指す」をテーマに、課題別オンラインセミナー①今こそ始める外国人介護人材受入れ②新型コロナウイルスクラスター発生施設に聞く③デイサービス稼働率アップ事例報告を開催し、介護の現場が抱える問題点について学びました。又、介護福祉士国家試験に向けた受験対策など、限られた費用と人材をより効率的に使い、適切なケアにつなげる事業を展開してまいりました。

今年度は、課題別オンラインセミナーでは、特養の空床はなぜ生まれるのかなど5つのテーマを取り上げました。介護福祉士国家試験に向けた受験対策、感染症対策備品の配付などは継続していきたいと思っております。

日本介護支援協会は、ご利用者、そして介護の現場で働く人が元気になれるよう、介護環境改善に必要な提案をさせていただきながら、皆さまとともにより良いケアの構築をめざします。

《テーマ》 社会福祉法人の強化を目指す

II 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 高齢者福祉に関する研修事業(社会福祉法人強化事業)

課題別オンラインセミナー	
参加費	日介協会員(無料) 非会員(1,000円)
実施場所	Zoomによる双方向型
対象者	介護保険事業運営施設

1) 特養の空床はなぜ生まれるのか ～需要と供給のミスマッチを探る～

項目	内容
目的	特養の入所要件は2015年に原則「要介護3以上」となり、この改正により、特養の入所待機者は減少しています。以前より待機者数が減少したとはいえ、まだ全国で多くの入居待機者がいるにもかかわらず、すべての特養が満床というわけではなく、空床がある施設も少なくないのです。高齢化のピークを過ぎた地方都市では高齢者数が減少し始めています。順番待ちで入所まで何年もかかる施設がある一方で、空きを抱えた状態が慢性化している施設も出ているという、施設ごとの「格差」も生じています。なぜこのような需要と供給のギャップが生まれているのか探り、空床にさせない為のベツ管理などを学びます。

2) これからの社会福祉法人の経営について考える ～効率化と協働化～

項目	内容
目的	近年、高齢者人口の増加などにより地域社会における福祉ニーズは複雑化・多様化しています。そのため、これからの社会福祉法人には、より幅広い福祉サービスの提供が期待されているといえます。ですが、個々の社会福祉法人が提供できるサービスには限界があります。そこで、複数の社会福祉法人が相互に連携することで、福祉ニーズに効率的、効果的に対応することができるのではないかと考えます。単一法人では不可能であったこと、新しい介護を協働でつくる社会福祉法人経営を学びます。

3) 介護現場における「多様な働き方」について考える

項目	内容
目的	介護の現場は、人材不足が続いています。外国人介護人材の受入れ、定年後の元気な高齢者、主婦の空き時間など様々な層をターゲットとした多様な働き方、柔軟な勤務形態も進んでいます。柔軟で多様な勤務形態を認めることで、新たな人材活用の道筋が開け、イメージアップにもつながるのではないのでしょうか。「多様な働き方、柔軟な勤務形態」に取り組むにあたり、取り組む理由の整理、中核人材の必要性、業務の整理など事例から学びます。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の細分化 ～2時間単位でシフトを管理～ ・時間・シフト限定正社員、職務限定正社員制度 ・週休3日10時間制

4) 介護事業の理念と経営、そしてSDGsの取組み

項目	内容
目的	<p>介護の現場は多忙です。ご利用者のニーズにきめ細やかに対応しているだけで一日はあっという間に過ぎていきます。チームワークで仕事を進めなければいけないことも多く、人間関係でストレスを抱えることも少なくありません。離職率が高いことが法人の成長を阻んでいることもあります。優秀な人材に永く働いてもらうためにも明確な理念を確立しておくことは非常に重要です。一人一人が将来へのビジョンを共有しながら働くことは、質の高い介護サービスを提供するためにも大切な事だと考えます。</p> <p>また、持続可能な開発目標として浸透してきたSDGs。ここへきて耳目にする機会が増えている感があります。介護分野でも具体的なユースケースやサービスが見られるようになりました。最新の事例を取り上げつつ、介護分野における理念と経営、SDGsの現在地を示します。</p>

5) 介護報酬改定の方向性 ～押さえておきたいポイント～

項目	内容
目的	<p>今後の行く末を肌で感じるようになってきた縮小する日本社会で、増え続ける高齢者をどうやって支えていくか？新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中での物価高騰による社会福祉法人の負担は重くなるばかりです。介護事業者には厳しい改定になると言われている2024年の改正ですが、医療や福祉にとって大きな転換の年になると言えます。報酬改定の動向や情報をいち早くキャッチし事前にできる準備に取り掛かることが大切です。介護報酬改定の概要とポイントをわかりやすく紹介します。</p>

(2) 外国人研修の受け入れによる国際交流事業(アジア交流推進事業)

1) 介護福祉士国家試験受験対策講座の開催

項目	内容
実施日時	2023年8月22日(火) 受験対策講座 / 試験までの学習計画を立てる 2023年10月17日(火) 受験対策講座 / 試験までの学習計画の修正 2023年12月12日(火) 受験対策講座 / 直前予想問題演習
実施場所	Zoomによる双方向型
動画配信	2023年12月～2024年試験日まで
対象者	介護福祉士国家試験受験予定の介護福祉士候補者
目的	効果的な学習方法を学び、一人でも多くの介護福祉士候補者が、自信をもって国家試験に挑み、合格を勝ち取っていただくことを目的に開催します。
講師	いとう総研 伊東利洋氏

項目	内容
実施日時	2023年9月 国家試験の言葉対策 / 外国人合格者の受験対策を聞く 2023年10月 国家試験の文章対策 / 外国人合格者の受験対策を聞く
実施場所	Zoomによる双方向型
対象者	介護福祉士国家試験受験予定の介護福祉士候補者
目的	外国人介護福祉士が抱える問題の中でも特に難しいのが「日本語の学習」が上げられる。国家試験においては、問題文を読めること、そして正しく理解することがもとめられます。問題を読み解く対策について理解することを目的に開催します。
講師	国際厚生事業団 植村康生氏

(3) 高齢者福祉及び介護保険事業における人材育成事業(高齢者福祉における人材育成事業)

介護福祉士国家試験 受験対策用テキストの配付

項目	内容
配付時期	「介護福祉士国家試験受験対策講座」の開催に合わせて
対象者	日介協会員施設
目的	「介護福祉士候補者向け 介護福祉士国家試験受験対策講座」で使用しているテキストを会員施設への配布し、介護福祉士国家試験に向けて活用してもらおう。

(4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

感染症対策備品の配付 (会員施設)

項目	内容
配付時期	2023年6～7月
対象者	2021年度会費納入施設
法人会員	概ね22,000円 (感染症対策グッズ、災害対策グッズ)
事業会員	概ね4,500円 (感染症対策グッズ、災害対策グッズ)
目的	「感染症対策備品」「災害対策備品」の配付を引き続き実施したい。

(5) 福祉・保健・医療機関団体等との連携及び情報提供事業(情報提供事業)

ホームページの充実、活用

項目	内容
ホームページの活用	セミナーの案内、報告
会員ページの活用	・会員ページを活用して、セミナーの動画配信 ・セミナーの動画閲覧希望者へIDとパスワードの発行 ・動画配信については、内容によってパスワードを変更

2. その他の事業

(6) 高齢者福祉施設・事業所の福利、経営に資する事業

共同購入システム「日介協ネット」の運営

コクヨグループの「ウィズ カウネット」のカタログ掲載価格から全品6%値引きを施していく。
定期的にご入会キャンペーンを実施し、周知していきたい。

3. 役員会・組織の運営に関する事項

項目	内容
総会	通常総会の開催:5月(又は6月)に開催する
理事会	通常理事会の開催:5月(又は6月)及び翌年3月の2回開催する
正副会長会議	事業計画の推進について、共通理解、共通認識を深め、活動方針の確認調整等を目的に開催する
要覧の発行	当年事業計画・予算書、前年度事業報告・決算書を会員施設へ報告する